

新たに農協で取り扱いを開始



南種子支所
営農販売課
営農指導員
平山 良太

フェニックスロベニー

- **除 草**
栽培期間が長いため、こまめな除草対策が必要。特に幼苗期は早めに草を抜き取り、株の育成に努める。
- **施 肥**
完全に活着後、緩効性肥料を年2～3回施用する。肥料が効きだすと芯が白く色づいてくる。
- **病虫害**
カイガラムシやハマキムシ等の発生が見られる。
- **収穫・出荷**
周年収穫に心がける。完全に展開し、十分に色づいた外葉を収穫する。



出荷規格

規格	M	L	2 L	出荷基準
草丈 (cm)	60	70	80	・病虫害被害のないもの ・葉の傷みのないもの ・葉のトップがあること ・葉が裂けていないこと
入り本数 (枚)	200	200	200	

しきみ

- **除 草**
雑草が繁茂し、苗木の生長を妨げるので、苗高が低い時はこまめに除草する。除草剤を使用する際は枝葉にかからないよう散布する。
- **施 肥**
有機成分を含んだ化成肥料を施用する。施肥量が多いほど成長は良いが、窒素分が多いと徒長枝になりやすいので注意する。
- **病虫害**
カイガラムシやアブラムシ等の発生が見られる。カイガラムシの発生によりすす病が併発することもあるのでしっかり防除を行う。
- **収穫・出荷**
周年定期出荷があるが、3月の彼岸前・8月の盆前・9月の彼岸前・年末年始が主体となる。4～5月の新梢の伸長期に多く切り枝をすると樹勢が弱まるので注意する。



出荷規格

規格	入数	出荷基準
60 cm	60束	・病虫害被害のないもの ・葉の傷みのないもの
45 cm	100束	
芯	20kg	

